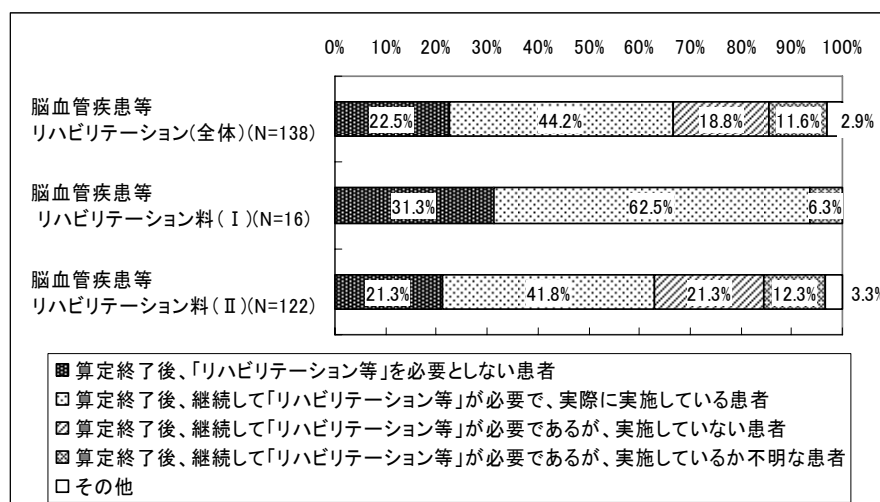


診療所における、脳血管疾患等リハビリテーションは、「算定終了後、継続して「リハビリテーション等」が必要で、実際に実施している患者」(44.2%)が最も多く、次いで「算定終了後、「リハビリテーション等」を必要としない患者」(22.5%)となっている。内訳で見ると、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）については、「算定終了後、継続して「リハビリテーション等」が必要で、実際に実施している患者」が62.5%と最も多く、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）についても、「算定終了後、継続して「リハビリテーション等」が必要で、実際に実施している患者」が41.8%と最も多くなっている。

図表 6.1-39 11月1ヶ月間のうちにリハビリテーション料の算定を終了した患者の継続的なリハビリテーションの必要性（脳血管疾患等リハビリテーション（診療所））



・ 運動器リハビリテーション

病院における、運動器リハビリテーションは、「算定終了後、「リハビリテーション等」を必要としない患者」(41.2%)が最も多く、次いで「算定終了後、継続して「リハビリテーション等」が必要で、実際に実施している患者」(36.1%)となっている。内訳で見ると、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）については、「算定終了後、「リハビリテーション等」を必要としない患者」が41.6%と最も多く、運動器リハビリテーション料（Ⅱ）についても、「算定終了後、「リハビリテーション等」を必要としない患者」が34.0%と最も多くなっている。